

平成25年第2回豊後高田市議会定例会会議録（第1号）

○議事日程〔第1号〕

平成25年6月12日（水曜日）午前10時0分開会

※開会宣告

※開議宣告

- 日程第1 会議録署名議員の指名
 日程第2 会期の決定
 日程第3 第43号議案から第51号議案まで及び第1号報告から第4号報告まで並びに報第1号から報第8号まで
 提案理由説明

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○出席議員（19名）

- | | |
|------|--------|
| 1 番 | 土谷 信也 |
| 2 番 | 近藤 紀男 |
| 3 番 | 成重 博文 |
| 4 番 | 安達 隆 |
| 5 番 | 山田 秀夫 |
| 6 番 | 松本 博彰 |
| 7 番 | 中山田 健晴 |
| 9 番 | 明石 光子 |
| 10 番 | 土谷 力 |
| 11 番 | 村上 和人 |
| 12 番 | 駕海 政幸 |
| 13 番 | 安東 正洋 |
| 14 番 | 北崎 安行 |
| 15 番 | 川原 直記 |
| 16 番 | 河野 正春 |
| 17 番 | 山本 博文 |
| 18 番 | 菅 健雄 |
| 19 番 | 徳永 浄 |
| 20 番 | 大石 忠昭 |

○欠席議員（1名）

- 8 番 河野 徳久

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

- | | |
|-------|--------|
| 事務局 長 | 清水 栄二 |
| 庶務係 長 | 次郎丸 浩一 |
| 議事係 長 | 岩本 力 |
| 主 任 | 西田 巨樹 |

○説明のため議場に出席した者の職氏名

- | | |
|-------------------|--------|
| 市 長 | 永松 博文 |
| 副市 長 | 駕海 豊 |
| 会計管理者兼市参事兼会計課長 | |
| 市参事兼税務課長 | 安東 良介 |
| 市参事兼建設課長 | 甲斐 智光 |
| 総務課 長 | 筒井 正之 |
| 財政課 長 | 佐藤 之則 |
| 企画情報課 長 | 安藤 隆治 |
| 地域活力創造課長 | 河野 真一 |
| 市民課 長 | 藤重 深雪 |
| 保険年金課 長 | 山田 真一 |
| 子育て・健康推進課長 | 佐藤 清 |
| ウェルネス推進課長 | 植田 克己 |
| 環境課 長 | 伊南 富士子 |
| 商工観光課 長 | 榎本 久光 |
| 農林振興課 長 | 安田 祐一 |
| 農地整備課 長 | 大力 雅昭 |
| 上下水道課 長 | 都甲 賢治 |
| 福祉事務所 長 | 中尾 勉 |
| 地域総務二課長兼水産・地域産業課長 | 川口 達也 |
| | 後藤 三利 |
| 消 防 長 | 後藤 勲 |
| 総務課 課長補佐兼総務法規係長 | |
| | 水江 和徳 |
| 総務課 広報担当官兼秘書広報係長 | |
| | 都甲 さおり |

教育庁

- | | |
|---------|-------|
| 教 育 長 | 河野 潔 |
| 総務課 長 | 渡邊 和幸 |
| 学校教育課 長 | 小川 匡 |

○議長（河野正春君） おはようございます。会議に先立ちまして、ご報告をいたします。

5月22日に、東京で第89回全国市議会議長会定期総会が開催され、全国市議会議長会表彰規程により、10年以上市議会議員の職にある者として、安達 隆議員が表彰されましたので、ご報告します。

また、本日は、議会ホームページ等の写真撮影を行いますので、ご了承願います。

これより、表彰状の伝達式を行いたいと思います。

6月12日

○事務局長（清水栄二君） それでは、全国市議会
議長会の表彰状の伝達式を始めます。

○議長（河野正春君）

表彰状

豊後高田市 安達 隆 殿

あなたは市議会議員として10年市政の振興に務め
られその功績は著しいものがありますので第89回定
期総会に当たり今回表彰規程により表彰いたします。

平成25年5月22日

全国市議会議長会会長 佐藤祐文

おめでとうございます。

（拍手）

○事務局長（清水栄二君） ここで、永松市長にお
祝いの言葉を賜りたいと思います。

○市長（永松博文君） 皆さんおはようございます。
私のほうから一言お祝いの言葉を申し上げます。

さきの第89回全国市議会議長会におきまして、市
議会議員在職10年表彰を受賞されました安達議員に
おかれましては、まことにおめでとうございます。
市民を代表いたしまして、お祝いの言葉を申し上げ
ます。

今後におかれましても、豊後高田市政発展のため
にご尽力賜りますようお願い申し上げましてお祝いの
言葉とさせていただきます。どうもお
めでもうございました。

（拍手）

○事務局長（清水栄二君） ここで、安達議員より
お礼の言葉がございます。

○4番（安達 隆君） 皆さん、おはようございま
す。一言、謝辞を申し上げます。

本日、ここに、永松市長を初め執行部の皆様方、
並びに市議会議員の皆様のご臨席のもと、全国市議
会議長会より在職10年の表彰状の伝達を受けました
こと、まことに光栄に存じております。

今回の表彰は、私にとりまして身に余る栄誉であ
ると感じております。

これを機に、さらに市政の発展と、住み良いまち
づくりのため、より一層の努力を重ねていく所存で
あります。

皆様方におかれましては、どうかこれからも、相
変わりませずご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い
申し上げます、お礼の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

（拍手）

○事務局長（清水栄二君） 以上をもちまして、表

彰状の伝達式を終わります。ご協力ありがとうございました。

○議長（河野正春君） ただいまの出席議員は、19
名で、議員定数の半数に達しております。

よって、平成25年第2回豊後高田市議会定例会は
成立いたしましたので、開会いたします。

○議長（河野正春君） この際、諸般の報告をいたし
ます。

お手元に配付いたしました事務報告書のとおりで
ありますので、ご了承願います。

○議長（河野正春君） これより、本日の会議を開き
ます。

市長ほか関係者の出席を求めましたので、ご了承
願います。

○議長（河野正春君） 日程第1、会議録署名議員の
指名を行います。

会議録署名議員に7番、中山田健晴君及び9番、
明石光子君を指名いたします。

○議長（河野正春君） 日程第2、会期の決定を議題
といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から6月27日までの16
日間といたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（河野正春君） ご異議なしと認めます。よっ
て、今期定例会の会期は、本日から6月27日までの
16日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定は、お手元に配付してあ
ります会議予定表のとおりであります。

○議長（河野正春君） 日程第3、第43号議案から第
51号議案まで及び第1号報告から第4号報告まで並
びに報第1号から報第8号までを一括議題といたし
ます。

提案理由の説明を求めます。

市長、永松博文君。

○市長（永松博文君） 本日ここに第2回定例会を
招集いたしましたところ、議員各位にはご出席いた
だきましてまことにありがとうございます。

まず最初に、今期、私が目指します市政方針につ
いて、述べさせていただきます。

合併後、第3期目に、私が目指しますのは、「夢を
かたちに 未来に光り続けるまち 豊後高田」の実
現でございます。

これからの4年間は、本市が将来にわたって持続

的に発展していくために、最も重要な期間であると考えております。

そしてまた、市勢の発展には、人の力が最も大事であると考えておまして、その人を増やすのは、今しかありません。

この十数年、誘致企業が19社、そして、地元企業の増設により、おおよそ2,000人の雇用が生み出されています。その多くが市外からの勤務者であり、未婚者であります。今まさに、結婚適齢期を迎えております。この方々と市内在住の未婚者と併せて、結婚していただき、なんとか、本市に住んでいただきたいと考えております。

そのため、定住を柱とする人口3万人の実現に向けた主要事業を、着実に実行し、『未来に光り続けるまち』の基礎を築いていかなければならないと考えております。

第一は、人口増の筋道を作ることでございます。

まず、住宅施策を中心に、直接的な定住促進事業を積極的に推進して参ります。城台団地、犬田団地の造成など、若年層でも購入できる、安価で優良な宅地を造成するとともに、子育て世代のニーズにあった賃貸住宅の整備も行って参ります。また、より多くの皆様に本市に移り住んでいただけるよう、インターネットを利用した情報発信を強化するとともに、空き家バンクの充実や、住宅改修の助成など、移住希望者への支援を数多く進めて参ります。

加えて、若者の就労の場の確保や、婚活支援、子育て環境のさらなる充実など、若い世代の方々に本市に住んでいただけるよう、定住促進事業に取り組んで参ります。

次に、まちなかの魅力向上の推進でございます。

市民の皆様が利用しやすく、大規模災害時にも対応できる行政拠点となる新庁舎の建設をはじめ、現在の市庁舎跡地を活用した健康づくりのための公園、そして、大分銀行跡地に、昭和の町最後の観光拠点施設を整備して参ります。また、引き続き、高齢者が楽しく過ごせる玉津地区の活性化に取り組むとともに、楽しく歩いて暮らせるまちづくりを推進して参ります。

昭和の町は、10年間にわたる官民一体となった取り組みによって、年間40万人が訪れるまでになりました。今後も観光拠点であり続けるために、宮町商店街等の活性化など、新たな魅力づくりを進めて参ります。

それとともに、中世六郷満山文化遺跡、田染荘な

どの千年ロマン観光の推進、そしてまた、6つの温泉、夕陽の真玉海岸や花いっぱい長崎鼻などの縁結びのスポットをつなぐ恋叶ロードなど、豊富な地域資源を活用した観光振興を、引き続き推進して参ります。

次に、産業振興の推進についてでございます。

当市の基幹産業である農林水産業の振興に取り組んで参ります。とりわけ、世界農業遺産の認定を受けて、そば、シイタケ等の特産物のブランド化と生産拡大を推進して参ります。

また、これまでの実績を踏まえ、企業誘致の取り組みを進めるとともに、商工業の振興を推進して参ります。

次に、安心・安全・やさしいまちづくりの推進でございます。

防災施設、危機管理体制の充実など防災体制の確立による安心・安全な生活環境整備を行って参ります。

また、人と人とのふれあいを大切にし、市民の皆様が心豊かに、そして心温かく暮らせるまちづくりを目指したさわやかあいさつ運動を推進して参ります。

新たに整備された都甲小中一貫校戴星学園における新たな教育の展開や、新図書館での市民講座の開催など、これまでの学びの21世紀塾の取り組みとあわせ、学校と家庭、地域が一体となった教育のまちづくりを推進して参ります。

小中学生の学力はもとより、体力のさらなる向上を目指し、文武両道で活躍できる豊後高田っ子を育て参ります。

そして何といたっても、市民の皆様が、元気で楽しく長生きできることが肝要でございます。

チャレンジウォーキングや健康マイレージ事業、健康づくり教室を実施するとともに、検診費用の助成や、減塩等の健康指導など、きめ細かな健康推進施策を行って参ります。また、老人クラブの組織強化や地域におけるサロン活動を支援することにより、交流による高齢者の生きがいがづくりを進めるなど、全市をあげて、健康なまちづくりを推進して参ります。

以上、市政運営にあたっての基本方針の一端を述べて参りましたが、これらは一人の力だけでは実現することができません。改めて初心に戻り、これまで以上に市民の皆様の声を聴く機会を増やし、皆様とともに一丸となって「未来に光り続けるまちづく

6月12日

り」を行っていきたいと考えておりますので、これまで同様に、議員をはじめ市民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、諸般の報告を申し上げます。

最初に、大変うれしい報告をさせていただきます。

待望しておりました小児科専門医が、4年ぶりに本年7月から、大分大学医学部より派遣をいただき、高田中央病院に常勤することになりました。

改めて、大分大学医学部に深く感謝申し上げるとともに、ご尽力くださいました大分県及び豊後高田市医師会に厚く御礼を申し上げる次第でございます。

次に、豊後高田市のイメージソングについてでございます。

このイメージソングは、豊後高田商工会議所が製作したものでございまして、作詞・作曲を、本市出身の今成佳奈さんが手がけたものでございます。

市民の皆様から寄せられた本市への想いや言葉が多く詰まっていることから、広く愛されるイメージソングとなるよう、様々な場面での活用をよろしくお願いいたします。

次に、世界農業遺産についてでございます。

このたび、国東半島宇佐地域特有のクヌギ林とため池がつなぐ、農林水産業の循環システムが、世界農業遺産国際会議で認定されました。

これまで、世界で19の地域が認定され、日本では新潟県佐渡市と石川県能登半島に続き、3例目の認定となったところでございます。認定に際しては、田染荘小崎地区の農村景観を守る取り組みが、非常に高い評価を受けるとともに、現地調査においても、広瀬知事をはじめ、地元住民の案内やおもてなしにより、その熱意が伝わったものと思っております。

今後は、そば、米、シイタケをはじめ農産物のブランド化と観光振興により、地域の活性化につながるものと期待しているところでございます。

次に、日本風景街道の登録についてでございます。

日本風景街道は、道路ならびにその沿道や周辺地域を舞台に、様々な団体による協働により、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、観光振興や地域の活性化を目指した取り組みでございます。大分市佐賀関から豊後高田市までの総延長約150キロが「別府湾岸・国東半島海への道」として登録され、5月14日にその登録証が交付されたところでございます。

今後は、関係団体と連携し、長崎鼻や栗島神社、真玉海岸等の魅力を広く発信して参りたいと思つて

おります。

次に、地元CMグランプリについてでございます。

3月に開催されました沖縄国際映画祭におきまして、全国47都道府県の代表市町村から出品された中から、本市の「昭和の町」と「六郷満山文化」を繋ぐ時空の旅をテーマにしたCMが、全国1位となるグランプリを獲得いたしました。豊後高田市を全国にPRする大変嬉しい受賞となりました。

いよいよ今年の夏、全国高等学校総合体育大会が、北部九州4県で開催されます。

本市におきましては、カヌー競技が、7月31日から8月4日にかけて、真玉カヌー場において開催されます。大会期間中は、全国各地から集まる選手や関係者の皆様を、おもてなしの心をもってお迎えし、そして、全国に本市の魅力をアピールする機会と思つていただいております。

先般、行われた高校県体におきまして、高田高校カヌー部の男子が総合優勝、女子が総合2位となり、多くの選手が予選を突破いたしました。本大会での活躍が期待されるところでございます。

主役であります高校生の熱意と創意を結集し、高校生最大のスポーツイベントにふさわしい大会として、成功させたいと考えておりますので、議員をはじめ市民の皆様のご応援と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、新庁舎建設についてでございます。

昨年12月、市民の皆様からのご意見、さらには、議員の皆様からのご提言をもとに「基本構想」を策定したところでございます。その後、プロポーザルにより設計業者を選定し、現在、基本設計に取り組んでいるところでございます。ある程度の青写真が出来ましたら議員の皆様にお示しし、ご意見を伺いながら、8月末を目途に基本設計を完成させ、次の実施設計へ進めて参りたいと考えております。

それでは、本定例会に提案いたしました議案について、その大要をご説明申し上げます。

平成25年度の一般会計及び特別会計補正予算についてでございますが、市長選挙の実施に伴い、当初予算を義務的経費、経常的経費を中心とした骨格予算として編成したことから、政策的経費や新規事業の肉付き予算を計上するものでございます。

まず、第43号議案の一般会計補正予算案につきましては、13億6,820万7,000円の増額で、補正後の予算総額は、132億1,987万6,000円となります。

その財源につきましては、国庫支出金、県支出金、

地方債、繰越金などでございます。

補正の内容につきまして、主なものを申し上げますと、総務費では、定住促進を図るため、空き家の改修や住宅の新築、転入のための引っ越し費用を助成する「定住促進奨励事業」、新庁舎の建設に向けての実施設計や駐車場の造成工事等を行う「新庁舎建設事業」、市の施策を積極的にPRするための広報にかかる経費などを計上しています。

民生費では、歩いてみたくなる玉津プラチナ通りの創出に向けて、新町上町線の環境整備を行う「中心市街地魅力向上事業」、地域サロン活動の充実を支援するための「地域コミュニティ応援事業」、子育てしながらでも働きやすい環境づくりを推進するため、企業の求人ニーズの意向調査等を行う「子育てしながら働きやすいまちづくり推進事業」などを計上しています。

衛生費では、モデル地区において、運動教室を開催し、地域の健康度の実証や健康づくりサポーターを育成する「過疎地域の健康づくりサポート事業」、がん検診の受診率の向上を目指す「がん検診等実施事業」、家庭での減塩の普及啓発、ケーブルテレビ健康体操の充実を図る「健康増進事業」、旧千部火葬場跡地を墓地として有効活用するため、その測量設計を行う「墓地整備事業」、可燃ごみの減量化を推進するため、燃えるゴミとして出されている紙を、さらに細分化し資源ゴミとして分別できるようにする「雑がみ分別袋作製事業」などを計上しています。

農林水産業費では、新規就農の促進を図るため、新規就農者の研修期間中の家賃を助成する「新規就農支援事業」、長崎鼻に植物油の搾油施設などを整備し、地域産業の活性化を支援する「地域活力づくり活動支援事業」、アグリチャレンジスクールや市民園芸講座の開催により小規模農業を振興する「笑顔あふれる50運動プロジェクト事業」などを計上しています。

商工費では、宮町飲食店を中心とした組織の構築を行い、若者をターゲットにしたイベント等を実施する「宮町活性化誘客プラン確立事業」、中小地場企業の大学新卒者の雇用を促進する「中小企業採用促進奨励事業」、新規立地企業の進出を奨励し、市内在住者の雇用を促進する「新規立地雇用促進奨励事業」、国東市との連携により、ロングトレイルコースの整備を行う「峯道ロングトレイルコース整備事業」などを計上しています。

土木費では、犬田水崎線ほか道路改良工事を行う

「過疎道路対策事業」、新庁舎建設後の現庁舎の跡地利用にかかる測量設計を行う「社会資本整備総合交付金事業都市再生整備計画関連分」などを計上しております。

消費費では、防災研修会の実施や備蓄食料品の購入等により、地域防災力の向上を図る「地域防災力活性化向上対策事業」、津波発生時に浸水が予想される地区において、防災研修会等を開催する「自主防災組織防災力強化事業」などを計上しています。

教育費では、あいさつ運動の更なる広がりを目指す「さわやかあいさつ運動推進事業」、香々地市民グラウンドのトイレ等の整備を行う「既存施設改修整備事業」、丘の公園スポーツ広場の設備工事を行う「丘の公園改修事業」などを計上しています。

その他の歳出の概要につきましては、参考資料として「事業一覧表」を配布させていただいておりますので、説明を省略させていただきます。

第44号議案の簡易水道事業特別会計補正予算案につきましては、大村団地連絡管布設工事等を行う「簡易水道統合整備事業」などを計上しています。

第45号議案の公共下水道事業特別会計補正予算案につきましては、汚水管渠築造及び終末処理場の汚泥処理棟などの増設工事等を行う「公共下水道整備補助事業」、下水道台帳システムの構築業務委託等を行う「公共下水道整備単独事業」を計上しています。

第46号議案の特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算案につきましては、真玉・香々地処理区全体の長寿命化計画の策定委託を行う「特定環境保全公共下水道整備補助事業」を計上しています。

第47号議案のケーブルネットワーク事業特別会計補正予算案につきましては、真玉庁舎に設置しています非常用発電機を、水害等を避けるため、屋上に移設する「地域公共ネットワーク等強靱化事業」を計上しています。

なお、各特別会計における、それぞれの補正額につきましては、議案書のとおりでございます。

次に、予算以外の議案及び報告についてご説明申し上げます。

第48号議案、豊後高田市税特別措置条例の一部改正及び第51号議案、豊後高田市工場等立地促進条例の一部改正につきましては、半島振興法第17条の地方税の不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部改正に伴い、中小事業者に対する要件が緩和されたため、固定資産税の不均一課税及び適用工場等の指定について所要の規定の整備を行

6月12日

うものでございます。

第49号議案、豊後高田市定住促進空き家活用住宅条例の一部改正につきましては、本市への定住促進を図る目的から、定住希望者向け空き家活用住宅として、新たに虹いろ住宅四番館を設置するため、所要の規定の整備を行うものでございます。

第50号議案、豊後高田市子ども・子育て会議条例の制定につきましては、子ども・子育て支援法の規定に基づき、子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進について、必要な事項の調査、審議等を行うため、子ども・子育て会議を設置するのに当たり、必要な事項を定めるものでございます。

第1号報告から第4号報告につきましては、早急に所要の規定の整備を行う必要が生じたため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めるものでございます。

報第1号から報第3号につきましては、地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき、平成24年度の各会計予算の繰越明許費繰越計算書について報告するものでございます。

報第4号から報第7号までにつきましては、地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、土地開発公社、スパランド真玉、農業公社及び観光まちづくり株式会社について、経営状況を説明する書類を提出するものでございます。

報第8号の損害賠償の額の決定及び示談につきましては、地方自治法第180条第1項の規定に基づき専決処分したので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

以上で本定例会に提案いたしました議案について説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。

○議長（河野正春君） 以上で本日の日程は、全部終了いたしました。

あすから6月17日まで休会いたします。次の本会議は、6月18日、午前10時に再開し、議案質疑を行います。

なお、議案質疑の通告は、あす正午までに提出願います。

本日はこれにて散会いたします。

午前10時34分 散会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名

する。

豊後高田市議会議長 河野正春

豊後高田市議会議員 中山田健晴

〃 明石光子